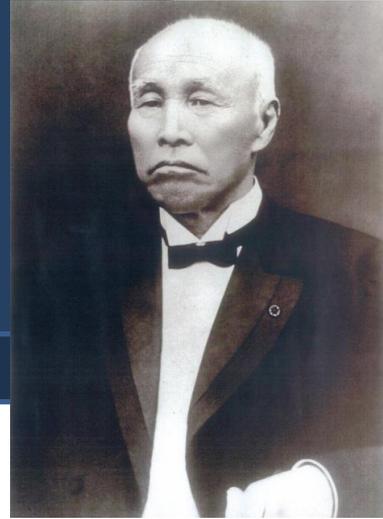


おお くま しげ のぶ
大隈 重信 侯

○総理大臣として統計に関心を持ち、その発展に業績を残した

○統計院の設置を建議し、自ら統計院長に就任

○内閣訓令第1号「統計の進歩改善に関する件」を公布して、全省庁が統計の改善、進歩に努力すべきことを訓示



略 歴

(和暦・西暦)	(歳)	(事 項)
天保 9年 (1838)		佐賀の会所小路で生まれる (2月16日)
弘化元年 (1844)	6	藩校弘道館の外生寮に入る
嘉永 6年 (1853)	15	弘道館の内生寮に入る
文久元年 (1861)	23	弘道館の教授となる 藩主鍋島直正にオランダ憲法を進講する 英学を始める
慶応元年 (1865)	27	長崎に英学塾「致遠館」を設立する
明治元年 (1868)	30	外国官副知事となる (12月)
2年 (1869)	31	会計官副知事を兼任する (3月) 大蔵大輔となる (7月)
3年 (1870)	32	参議となる (9月)
4年 (1871)	33	大蔵省に統計司を設置する (6月) (8月に統計寮となる)
6年 (1873)	35	大蔵卿となる (10月)
14年 (1881)	43	統計院の設置を建議する (4月) 太政官統計院長となる (5月) ” 明治14年の政変” により参議を辞任し、統計院長も退任 (10月)
15年 (1882)	44	立憲改進黨を結成しその総理となる (3月) 東京専門学校 (後の早稲田大学) を開校する (10月)
31年 (1898)	60	憲政党を結成し、第1次大隈内閣 (“隈板内閣” : 我が国・初の政党内閣) を組織する (6月~11月) 内閣統計課を内閣統計局に格上げする (11月)
40年 (1907)	69	早稲田大学総長となる (4月)
大正 3年 (1914)	76	第2次大隈内閣を組織する (3年4月~5年10月)
5年 (1916)	78	内閣訓令第1号で統計の重要性について訓示する (5月)
11年 (1922)	83	死去 (1月10日)

※ 島村史郎「日本統計史群像」(財団法人日本統計協会) から引用